

強者の戦略

論述世界史〔1995年 東京大学 第2問より〕

こんにちは、世界史の北林です。今回は東京大学の第2問の短文です。短い文章なのですが、案外手が止まってしまう人も多いようなので、ここで少しチャレンジしてもらいたいと思います。東京大学は短文で何度もインド近現代史を出題しており、必ず復習しておいてほしい範囲です。

【1995年度 東京大学 前期 第2問より】

ベンガル地方はイギリスによるインド植民地支配上の重要地域で、そこではイギリスのインド支配全体の成立と変遷の上で画期となる事柄や事態が生じている。この点に留意して、植民地支配との関係や独立の仕方を中心に、18世紀なかばから1947年までのベンガル地方の歴史を、4行以内(1行30字)で記せ。

120字以内と短いですが、知識の抜けがないように解答を作成するためには、しっかり構想メモを作っておきたいところです。教科書類など何を見てもかまいませんので、取り組んでください。